

特命子ども地域アクター養成アクション

子どもと大人がともに地域に参画し合う社会基盤構築を目指して

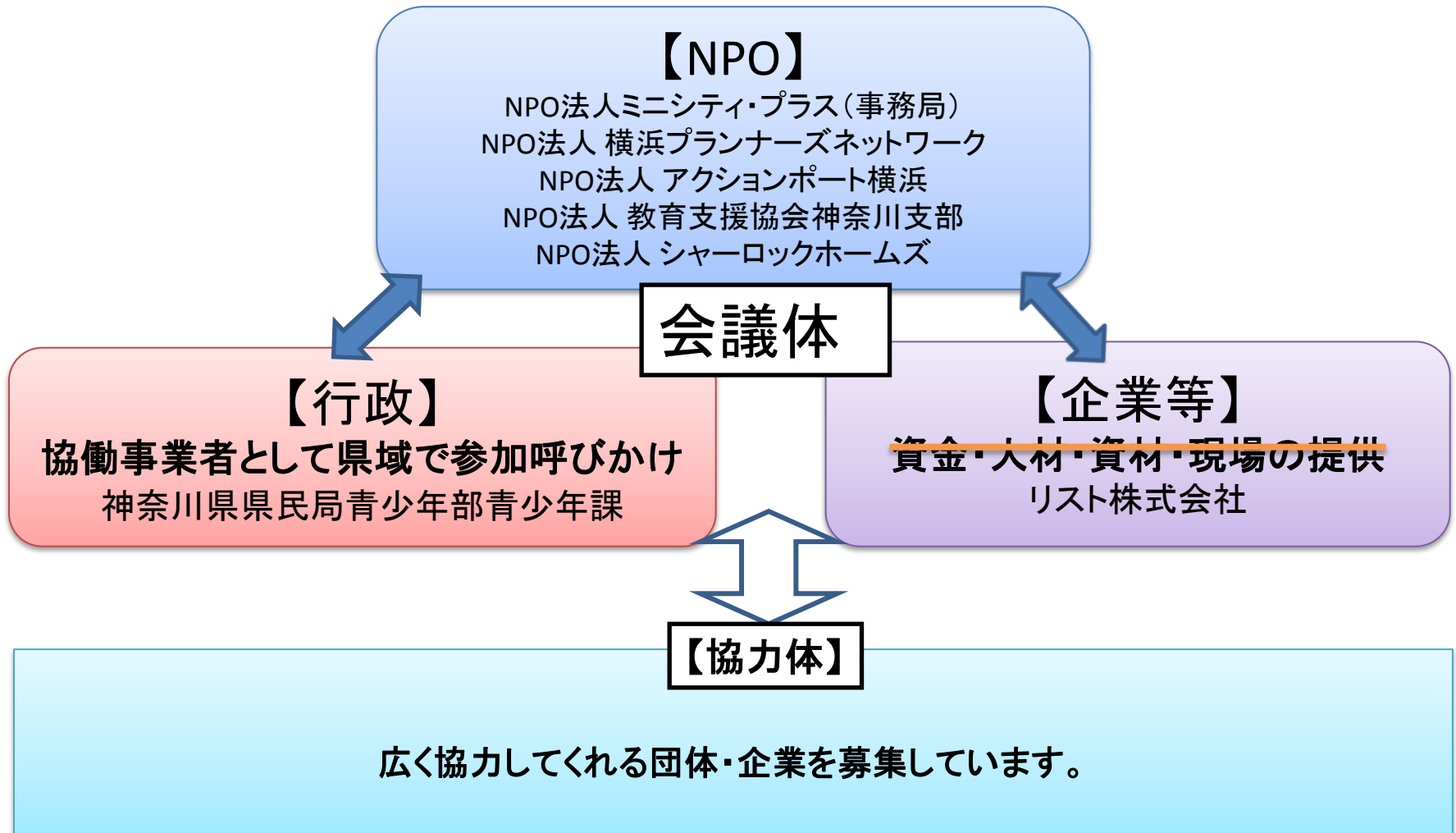
かながわ子どもの地域社会参画推進会議



ティーンがまちをつくる

特命 子ども地域アクター プロジェクト

事業主体となる「かながわ子どもの地域社会参画推進会議」



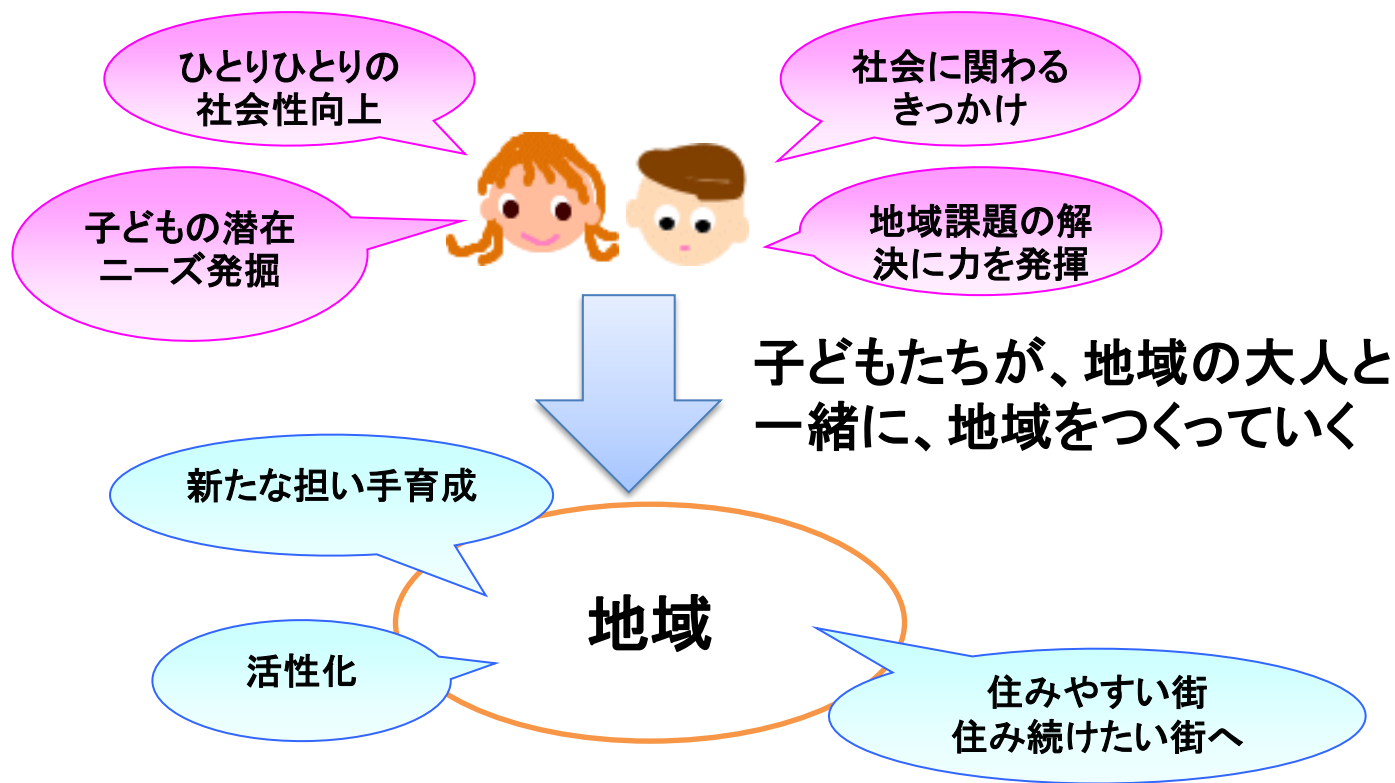
特命子ども地域アクターとは？

特命子ども地域アクターの任務は？

自分たちのまちの課題や価値に気づき、自らその解決やその価値の向上のために活動する人を私たちは「地域アクター」と呼びます。

この事業では、いままで主に大人だけで行ってきたまちのイベントや会議に参加してもらい、ティーンが発想、行動力を実際のまちに活かし、活躍してもらいます。

それが「特命子ども地域アクター」です。



事業内容の3つの柱



1.「特命子ども地域アクター」の募集・養成

- ・特命子ども地域アクターの募集・説明会の開催
- ・子ども会議の定期開催
- ・まちづくり「いろは勉強会」



2.「特命子ども地域アクター」の派遣

- ・派遣先となる、まちづくり団体の募集
- ・お見合い会を経て、派遣先を決定
- ・特命子ども地域アクターの派遣(7月～10月)



3.「子ども地域社会参画フォーラム」の開催

- ・12月2日フォーラムでの成果発表
- ・フォーラムの企画もこどもアクターが行う。



1.「特命子ども地域アクター」の募集・養成

・特命子ども地域アクターの募集

県内3ヶ所(2/19小田原、3/24横浜、3/4相模原)でアクター募集とまちづくり団体募集についての事業説明会を行った。



ポスター、チラシ、ホームページ、プレスリリース等で、特命子ども地域アクターの募集まちづくり団体募集を行なった。



特命子ども地域アクター 26名

30名に満たなかった原因は、年度の変わり目で新しい学年の予定が立たず、応募できない子が多かった。

受け入れまちづくり団体 17団体

予定以上に受け入れ応募団体は多くなり、バラエティに富んだ派遣先が集まった。

ティーンがまちをつくる
特命子ども地域アクタープロジェクト
応募締切 2012年3月21日 当日消印有効 約30名募集
こんなティーンは集まれ!!

社会は大人だけがまかせてられない
今、やりたいことが見つからない
自分の地域以外のまちを歩きたい、いてみたい
とにかくワクワクすることをしてみたい
楽しいことをして役に立ちたい

大人と同じように地域の中で活躍したい
学校や部活以外で活躍する場がほしい
子どもだって働いている人を観たい
学校や部活以外の友達が欲しい
大人と対等に話したい

特命子ども地域アクターの会議、地域活動、イベントには講師参加の交通費については、全額支給します。
また、活動時、お膳をはさんでの活動になる場合のお弁当代についてはお膳を設計、支給します。ただし報酬はありません。

★特命子ども地域アクターの任務は?
自分たちのまちの課題や悩みに気づき、自らその解決やその克服の向上のために活動する「地域アクター」がいればまちづくりの現場で活躍しています。
特命子ども地域アクターには、この大人だけが行ってきたまちのイベントや会議に参加してもらい、ティーン自身の成長、行動力を発揮する機会に恵まれ、活躍してもらいます。
まちのイベントやまちづくりで自分の企画を提案しませんか? 地域で活躍できる「場」があなただけを求めています。経験のある大人スタッフが、一緒に楽しく創っていきます。

★特命子ども地域アクターになれる人は……
1. 2012年4月に中学1年～高校3年生、神奈川県に在住が在学生。
(一人でも大丈夫な学年級学年別の募集期間あり)
2. 特命子ども地域アクターの約1年の任期に最後まで参加できる人
3. まちに関心がある人、これにまちに関心を持ちたいと思ってくれる人

★スケジュール★
3/21日 当日消印有効、立派納付(応募者多数の場合、応募用紙、面接等選考)
4/15日 アクター第1回例会(午後予定)
5/13日 アクター第2回例会(午後予定)
★地域アクター会議は隔週開催します(地域別実施)
5/27日/6/3日/10/17日/24日 (すべて日曜の午前)
6/24日 午後 年次総会(4時開始) 地域まちづくりの総意を話し、地域との関係の強化を話し合います。
7月～10月 まちづくりの現場へ(現場による、3日間～5日間くらい、ここがイチバン大事です!!)
10月2日 第1回(平日)全国特命子ども地域アクター・フォーラムの企画(立派、成長発表)
10月～11月 全国特命子ども地域アクター・日本めぐり(企画と実行予定)

★問合せ・応募先★
このプロジェクトの会議体メンバー
神奈川県特命子ども地域アクター養成アクション
子どもと大人がともに地域に参画、あふれる社会基盤構築を目指す。

ティーンがまちをつくる
特命子ども地域アクタープロジェクト

ホーム 子どもアクターって? みんなおいでよ! 子どもアクターNOW! カレンダー 問い合わせ

このプロジェクトの会議体メンバー

最近の投稿
まちづくり団体との交流会を実施しました
まちづくりの日は講座第5回(最終回:ワークショップ)
まちづくりの日は講座第4回
まちづくりの日は講座第3回
まちづくりの日は講座第2回

最近のコピト

特命子ども地域アクタープロジェクト facebook

事業の目的
特命子ども地域アクターの任務は?
自分たちのまちの課題や悩みに気づき、自らその解決やその克服の向上のために活動する「地域アクター」がいればまちづくりの現場で活躍しています。
特命子ども地域アクターには、この大人だけが行ってきたまちのイベントや会議に参加してもらい、ティーン自身の成長、行動力を発揮する機会に恵まれ、活躍してもらいます。
まちのイベントやまちづくりで自分の企画を提案しませんか? 地域で活躍できる「場」があなただけを求めています。経験のある大人スタッフが、一緒に楽しく創っていきます。
本事業では、以下の三つの行動を目的とします。

1.「子ども・青少年に関わっている団体」と「まちづくりを実現している団体」のネットワークを、神奈川県下に新たにつくり、情報交換や交流をします。
「子どもの社会参画の推進」をのぞいて、県内の

2012年7月
日 月 火 水 木 金 土
7月 1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31 08 2 3 4

カレンダーページ

カテゴリー



1.「特命子ども地域アクター」の募集・養成

・会議の定期開催

◇大人の推進会議 5回

アクター派遣に関する検討
アクター、まちづくり団体派遣の承認等



◇子どもアクター会議 3回

(内、大人推進会議との顔合わせの合同会議1回含む)
まちづくりに関する認知度を知るワークショップ、企画力ワークショップ等

・まちづくり「のいろは講座」 5月27日 ～6月24日まで毎週日曜午前

第一回「まちづくりとはなにか？～都市づくり、まちづくり、ひとづくり～」

講師：三輪律江 参加24人

第二回「多様なまちづくりが展開する『ヨコハマ』」

講師：三輪律江 参加13人

第三回「クリエイティブなまちづくり～横浜都心部活性化への挑戦」

講師：鈴木伸治 参加17人

第四回「安全・安心のまちづくり～横浜中間郊外地域の取り組み」

講師：山路伸治 参加16人

第五回「ワークショップ～自分たちのまちについて考えてみよう」

講師：高城秀之 参加23人





2. 「特命子ども地域アクター」の派遣

・特命子ども地域アクター と まちづくり団体との「お見合い会」



各団体3分ずつ活動内容を説明していただいたあと、グループに分かれて、それぞれ自分が興味を持つ活動の話を聞きました。

その後、アクターに第5希望まで書いてもらい、事務局で調整しました。

7月から、アクターの派遣が始まっています。





2. 「特命子ども地域アクター」の派遣

・まちづくり団体派遣先決定

推進会議で、子どもたちを派遣する**団体17団体**を決定した。

ASHIGARAアートプロジェクト推進室

所在地: 横浜市中区 活動場所: 神奈川県足柄上地域

内容: アートイベントの象徴となる大きな旗をアーティストとともに制作する。

I LOVE YOKOHAMA

所在地: 横浜市泉区 活動場所: みなとみらい周辺

内容: みなとみらい周辺のゴミ拾いイベントのスタッフ

NPO法人I Loveつづき

所在地: 横浜市都筑区 活動場所: 同上

内容: 福祉商品のパッケージデザイン等の開発会議への参加、デパート販売のお手伝い

あざみ野第二小学校地域防災拠点運営委員会

所在地&活動場所: 横浜市青葉区あざみ野第二小

内容: 防災キャンプでのワークショップのファシリテーター

おもいやりライト運動事務局

所在地&活動場所: 横浜市中区(西区)

内容: おもいやりライトに参加している企業の取材、記事作成

スマイルミニシティさがみはら

所在地: 相模原市南区 活動場所: 南区麻溝公民館

内容: こどものまちイベントのワークショップ、当日運営お手伝い

つづきミュージックビート

所在地: 横浜市都筑区 活動場所: 都筑公会堂、他

内容: 中高生の音楽イベントの裏方スタッフ

ほどがや 人・まち・文化振興会

所在地: 横浜市保土ヶ谷区 活動場所: 保土ヶ谷駅西口商店街

内容: おまつりへの子どもたちが参加するしくみの提案と当日の運営

一般社団法人横浜みなとみらい21

所在地: 横浜市西区 活動場所: MM21グランモール公園

内容: 社会実験で行っているイベントでのアンケート調査等

戸塚フリーステージ実行委員会

所在地: 横浜市戸塚区 活動場所: 戸塚駅前

内容: 戸塚駅前イベントでの出店およびステージの盛り上げお手伝い

小田原まちづくり応援団

所在地: 小田原市南町 活動場所: 清閑亭とその周辺

内容: 自然体験イベントのスタッフ

都筑ハーベスト

所在地: 横浜市都筑区 活動場所: 都筑区内の畑、センター南の施設。

内容: 地元野菜を使った商品開発、農作業のお手伝い

都筑民家園

所在地: 横浜市都筑区 活動場所: 大塚歳勝土遺跡公園内民家園

内容: アートイベントでのこども参加型アートの提案と運営

特定非営利活動法人篠原の里

所在地&活動場所: 相模原市緑区の公民館

内容: 地域のお祭りでのこどもブースの展開

日本スポーツGOMI拾い連盟

所在地: 東京都渋谷区 活動場所: 東戸塚駅周辺

内容: 東戸塚駅でのゴミ拾いイベントでのスタッフ

富士通研究所ソーシャルソリューション研究部

所在地: 川崎市中原区 活動場所: 取材先による

内容: まちづくりをしている団体の取材と記事作成

和田町タウンマネジメント協議会 地域とこどもプロジェクトチーム

所在地: 横浜市保土ヶ谷区 活動場所: 相鉄線和田町

内容: まちあるきワークショップの企画と当日運営お手伝い

事業内容の3つの柱



1.「特命子ども地域アクター」の募集・養成

- ・特命子ども地域アクターの募集・説明会の開催
- ・子ども会議の定期開催
- ・まちづくりのいろは講座の開催



2.「特命子ども地域アクター」の派遣

- ・お見合い会を経て、派遣先を決定
- ・特命子ども地域アクターの派遣(7月～10月) **これからスタートです！**



3.「子ども地域社会参画フォーラム」の開催

- ・12月2日フォーラムでの成果発表
- ・フォーラムの企画もこどもアクターが行う。

今回のモデル事業で感じている問題点

1. 新しい公共で着目すべきは、事業の「成果」である。

県、NPO、企業それぞれが「成果指標」をあらかじめお互いの中で共有した上で、それを達成し成果を出すための変更は認めるべき。
事業の区切りごとにその成果指標がどれだけ達成しているかを評価をするべき。

現状の報告は、予算、細かいスケジュールの変更の報告の方に、NPO事務局と県青少年課が膨大な事務的作業時間を取られ、現場の活動に支障を来しかねない。

委託事業とは、一定の仕事(事業)の成果を求められるものだと認識している。
事業の一部を補助する補助金事業とは大きく違う。

また、今回はチャレンジングなモデル事業でもありトライアンドエラーを繰り返しながら、成果を目指してフレキシブルに現場を運営していかなければならない。

その点で、今回の状況は私たちの認識する委託事業とは大きく違っている。

今回のモデル事業で感じている問題点

2. 最初の事業提案で通った予算案の費目をなぜ変えなくてはいけないのか？

審査の段階で審査員からOKがでた予算計画について、
後から「企画運営費」「予備費」という費目はNGと伝えられた。

積算根拠についても求められるものが細かすぎる。

私たちは、NPOで行ってきた実績と経験に基づき、事業にかかる費用については、
期待される成果をにらんだ上で事前に大まかな費目で予測し、
あとで内訳を入れやすいように組み立てたつもり。

講座運営費〇万でなぜいけないのか。結局ほぼ中身は同じ結果となっている。

このように後出しで細かく仕様変更を求めるのはルール違反ではないか？

今回のモデル事業で感じている問題点

3. なぜ今年度から自立の道を進む一歩が行えないのか？

今年度から企業の協賛などをあつめていき、次年度につなぐ自主予算立てを組み込んだところ、それはNGと伝えられた。

県との協働事業であれば、企業の信頼も得やすく、支援が得られやすい。企業が出したいといっているときにチャンスであり、断らなくてはいけないということが理解できない。

またすべての講座等を無料で実施しなくてはならないということになると、来年度も無料が期待されてしまう。スタートアップ部分は委託金で実施するにしても、継続・拡大していく部分についてはある程度は自主予算も組み込んでおかないと、継続性が保てない。

いきなり来年度から資金難で事業運営ができなくなってしまうようで怖い。

ぜひとも検討してください！

- 以上のことを踏まえると、NPO事務局として県のNPO協働推進課から信頼されていないと感じる。もっと「新しい公共の担い手」たちを信頼し、任せて、進捗をみながら、随時プラスの方向へと変更していき、事業が成功するように、お互いに気持ち良くやっていきたい。
- 今回の私たちの会議体の中に限っては、それができていると感じる。青少年課とも信頼関係ができているのに、お互いがモチベーションが下がるような、成果につながらない不毛な事務作業に何日も費やしている。事業はこれからが本番である。この事業期間中にぜひ方針変更を検討してほしい。

かながわ子どもの地域社会参画推進会議

